



わかったかな？



令和5年10月31日、三好市立東祖谷小・中学校へ出前教室に行ってきました。
東祖谷小・中学校は、徳島県内有数の観光地である大歩危・小歩危、西祖谷のかずら橋を越え、色付きかけた木々を抜けた先の風光明媚な山間にありました。

出前教室では、小学6年生2名、中学2年生3名、中学3年生2名の合計7名に対して検察広報官が「検察庁の役割や社会のルール」などについて説明したほか、持参していた本物の手錠や防刃チョッキに触れてもらいました。

生徒の皆さんは、説明を熱心に聞いてくれ、手錠などにも興味津々の様子でした。

東祖谷小6年生、中学校2年生、3年生の皆さん、先生方、貴重な授業の1コマを法教育の場に提供していただき、本当にありがとうございました。

また、アンケートのご協力もありがとうございました！（検察広報官）

- とても深く検察庁についてわかることができました。
- しっかりルールを守らないと、自分だけではなく、他のみんなにも迷惑をかけてしまうということが改めてわかったので、ルールを守って生活したいと思いました。
- 事件が起きてから裁判になるまでの間には、検察庁の仕事が関わっていることを知りました。
- 少し難しいところもありましたが、警察署との違いなどはわかりました。
- 起訴までの流れを知らなかったので知れたことが印象に残りました。

などなど、他にもたくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。



感想をくれて
どうも
ありがとう！

